

J Aしずない・ミニトマト

生育順調 目標達成へ

【しずない】日高管内J Aしずないは5月下旬、新ひだか町の野菜集出荷センターで選果場開きを行った。ミニトマト部会の生産者やJ A、道内外の市場関係者ら140人が参加し、今年のミニトマトの収穫と出荷に向けて決意を新たにした。

和夫組合長は、2月の大雪で倒壊したハウス復旧に関して関係機関へ感謝した上で「今年のミニトマトの販売目標である8億2100万円を全力で取り組んでもらい、来年は部会の目標である10億円を突破したい」と呼び掛けた。

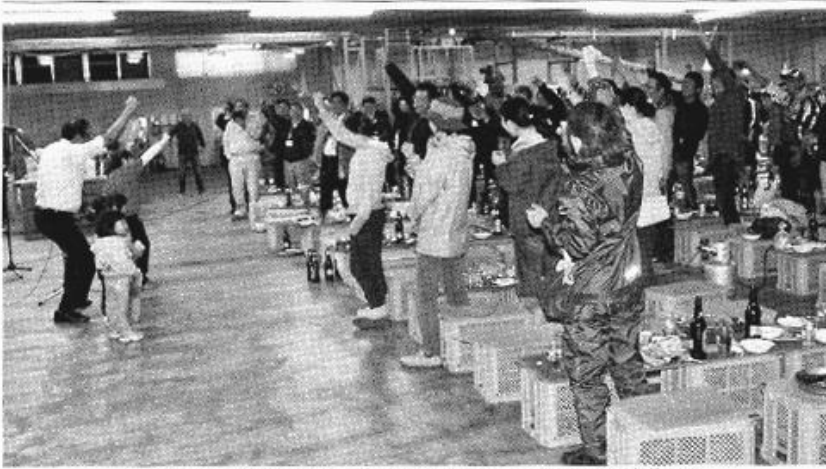
選果場開きは、今年から就農する3組と研修生3組が自己紹介。町内在住でミニトマト「太陽の瞳」のオリジナル曲を歌うシンガー・ソングライター阿部卓馬さんがミニライブを行い、会場を盛り上げた。

ミニトマトの出荷は5月21日から本格化しており、道外出荷も5月29日から始まった。被災した

ビニールハウス236棟のうち、約130棟が9月ごろの出荷を目指して復旧作業をしている。

選果場開き翌日には、

同部会が主催した青空研修会も開き、部会員のハウス3カ所を視察した。日高農業改良普及センターによると、例年と比べ4月からの日照時間が短く、昼夜の寒暖差が大きいため平年に比べ10日遅れという。しかし、管理が行き届いていることから、順調に生育している。



販売目標の達成に向けて一致団結した選果場開き（新ひだか町で）